

【揭示板】

《平成 22 年 7 月～9 月会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 292 社

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本	87 社	神奈川県	22 社	中部日本	47 社	西日本	136 社
-----	------	------	------	------	------	-----	-------

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	36 社	包装用容器・キャップ	48 社	電気・電子・通信部品	70 社
自動車・輸送機器部品	82 社	住宅関連	10 社	医療機器	4 社
その他	41 社				

3. 従業員数の内訳(パートを含む)

20 人未満	63 社	21～50 人	96 社	51～100 人	51 社	101～300 人	53 社
301 人以上	22 社						

4. 今期(平成 22 年 7 月～9 月)の自社業況について(前期比・前年同期比 %)

	平成 22 年 7 月～9 月(実績)					
	前期(22 年 4 月～6 月)比			前年同期(21 年 7 月～9 月)比		
1) 生産・売上高	1. 増加 34.6	2. 横這 34.9	3. 減少 29.5	1. 増加 43.8	2. 横這 26.7	3. 減少 28.4
2) 製品単価	1. 上昇 3.8	2. 不変 75.0	3. 下落 20.5	1. 上昇 5.8	2. 不変 58.2	3. 下落 34.2
3) 採算	1. 好転 14.0	2. 横這 54.5	3. 悪化 29.5	1. 好転 26.4	2. 横這 42.8	3. 悪化 29.5
4) 所定外労働時間	1. 増加 27.4	2. 横這 53.8	3. 減少 17.8	1. 増加 35.3	2. 横這 45.2	3. 減少 17.8
5) 製品在庫	1. 増加 12.3	2. 不変 61.6	3. 減少 24.7	1. 増加 22.6	2. 不変 54.1	3. 減少 21.6
6) 材料原料単価	1. 上昇 31.5	2. 横這 64.7	3. 下落 2.7	1. 上昇 45.2	2. 横這 49.7	3. 下落 3.8
7) 総合判断	1. 好転 17.5	2. 横這 54.5	3. 悪化 27.1	1. 好転 29.8	2. 横這 37.7	3. 悪化 31.2
8) 22/10-12 の見通し	1. 好転 14.0	2. 横這 46.6	3. 悪化 34.9	1. 好転 18.2	2. 横這 44.2	3. 悪化 32.2

5. 当面の経営上の問題(%)

1. 受注不振	2. 売上不振	3. 輸出不振	4. 製品単価安	5. 取引条件悪化	6. 過当競争
44.9	38.7	4.1	43.2	5.1	18.5
7. 輸入品との競合	8. 流通経費増大	9. 原材料高	10. 借入負担増	11. 貸渋り	12. 人件費高
10.3	6.2	28.1	9.2	3.8	13.0
13. 技能者不足	14. 技術力不足	15. マーケティング力不足	16. 設備過剰	17. 法的規制	18. 為替問題
20.2	13.7	6.8	4.8	1.0	10.3
19. 環境問題	20. 人材育成	21. 研究開発	22. 事業承継	23. その他	
4.1	26.7	6.2	4.8	2.7	

23. その他の意見: 設備老朽化対策、商品開発、設備不足、設備老朽化、海外動向、新規商品の開発・開拓

6. 輸出入取引、海外拠点作り等 一番関心のある国（%、社数）

1. 中国	2. タイ	3. ベトナム	4. マレーシア	5. フィリピン	6. インドネシア
35.2 (117)	19.0 (63)	20.2 (67)	4.2 (14)	1.5 (5)	4.5 (15)
7. インド	8. 欧州	9. 米国	10. 中近東	11. その他	
6.6 (22)	2.4 (8)	3.6 (12)	0 (0)	2.7 (9)	

11. その他関心のある国：韓国・台湾（2社）、ミャンマー・オーストラリア（1社）

7. 皆様のご意見、ご要望

新興国への生産基地移転。円高は将来にわたってもこの状態が続くのではないか。

95年にタイに進出、97年にタイのバブルを経験し、08年リーマンショックでは一時40%受注がダウン、日本でも同様の経験をした。しかしタイは昨年より回復、日本では大企業がアセアンへ進出を加速しており円高を修正しないとますます空洞化する。

生産の海外流出が止まらない。

受注、コスト等厳しい状況にあるが、海外生産対応、国内でのローコスト生産対応で乗り切るべく努力中。

受注減少。

大企業が中小企業を育成しようとする気概が見られなくなった。中小企業の技術・ノウハウを大企業のものと思いきや勝手に海外へ流出させている。自己規制の欠乏症。

政府の経済対策オンチ。他のアジア地域（特に中国、韓国、台湾）に比較し、国の動きが鈍く、遅い。すべて民間任せで、後手後手の状態が多い。

国内の仕事量を増やす方法を早く打ち出してください。一部の業界企業だけいい思いをさせるだけではダメ。

エコカー減税の打ち切りの影響がどこまで出るか不明で、先行き不安。また自動車メーカーの海外現地調達、海外進出がどこまで加速するかにより一層不安です。

円高により仕事が海外に移っている。1ドル100円～120円位が日本の実力ではないか？中小企業は海外にも出られない。

受注減、人員削減で対応。

昨年、原料高による価格調整できず。注文減少と小ロット化で採算悪化、インフルエンザ特需で一時的に需要あったが全体では低迷。今年夏場は受注減大きく、新商品見通しもあまり期待できない。販売活動に注力中。

微増減を繰り返しての昨今です。なかなか上昇とまでは周りの環境を見てますといきません。日本の産業は空洞化が進み雇用のできない中小企業が多くなってきている。企業に活力がないと消費が鈍る。景気の回復は中小企業に対し国や県がどのような指導をし、支援するかによる。たとえば大企業との単価取り決め支援を考えるか、日本のもの作りの品質を良く理解し、製品単価安は駄目な事をどのようにするかにより、企業の活力が生まれる。

海外の拠点づくりには興味がない。日本企業の海外進出拠点からの輸入はしている。当社は品種少量のため、技能者、技術者が必要。

生き残り競争が厳しい状況であるが、成形メーカーも少なくなってきており、取引条件はこちらに有利になる傾向がみられる。客先要求に応えた上で。

原材料高を何とかして下さい。成形だけでは厳しいと思っています。

事業拡大の意志はない。

会員企業の要望の中で、協会・連合会で検討し、取り上げるべき要望に対して行動した方がよいのではないのでしょうか。

原材料高、税制、人件費高、各法的規制等を考えると、現延長線上での国内製造は苦しくなる一方である。国内での製造を維持するためには革新的技術、ニーズが必要であると感ずる。

原油価格が下落しようといくら円高になろうと材料メーカーは何を考えているのか解りません。値上げの時に言っていた事をよく思い出してみると言いたい。協会として材料メーカーに対し何か要求は出来ないのでしょうか？

主要客先の生産計画の減少によって、生産設備（成形機）が定時割れを起こしライン停止が多

く発生している。この為に、設備投資・経費削減等の取り組みがあり、更に厳しい環境となっている。

車の助成金廃止の為9月よりまた受注が悪く心配しています。

国内生産の空洞化。

急激な円高で83円台の昨今、経費の抑制に引き続き苦戦です。景気刺激策、経済対策が我々中小企業まで行き届くのかと疑問を持ちつつ、忍耐が続きます。

新聞、テレビで報じられている日本国内の製造業の空洞化が心配です。

当社にとって現在の為替レートは直接的な影響はさほど無いが、主要取引先にとっては大変な問題。特にウォン安を背景とした韓国勢の攻勢には頭が痛い。

類似商品との過当競争。

8月より原料単価が安くなった分だけ利益が増大するようになった。

国内需要頭打ち感と減、及び取引先（受注先）の海外シフト強化によりその対応策が課題。

世界経済の中で日本は空洞化が進み、2番底が来る。大手企業は円高で海外依存を上げられるが中小は悪くなる一方。

各分類ごとの業況判断(平成22年7～9月期 前期比)

数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております
 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

団体別	生産高・売上高			製品単価			採算			所定外労働時間			製品在庫			材料調達単価			総合判断			来期の見通し		
	増加	横道	減少	上昇	不変	下落	好転	横道	悪化	増加	横道	減少	増加	不変	減少	上昇	横道	下落	好転	横道	悪化	好転	横道	悪化
東日本	33.3%	34.5%	32.2%	3.4%	74.7%	21.8%	12.6%	55.2%	32.2%	31.0%	49.4%	19.5%	11.5%	58.6%	29.9%	40.2%	59.8%	0.0%	14.9%	55.2%	29.9%	18.4%	47.1%	34.5%
神奈川県	31.8%	40.9%	27.3%	0.0%	77.3%	22.7%	13.6%	72.7%	9.1%	22.7%	63.6%	13.6%	13.6%	59.1%	22.7%	22.7%	77.3%	0.0%	22.7%	63.6%	13.6%	18.2%	36.4%	22.7%
中部日本	42.6%	38.3%	19.1%	6.4%	72.3%	21.3%	17.0%	48.9%	31.9%	25.5%	59.6%	14.9%	8.5%	74.5%	17.0%	25.5%	72.3%	2.1%	14.9%	53.2%	31.9%	10.6%	29.8%	59.6%
西日本	33.1%	33.1%	31.6%	3.7%	75.7%	19.1%	14.0%	52.9%	30.1%	26.5%	52.9%	18.4%	14.0%	59.6%	24.3%	29.4%	63.2%	5.1%	19.1%	52.9%	25.7%	11.8%	53.7%	28.7%

製品別	増加	横道	減少	上昇	不変	下落	好転	横道	悪化	増加	横道	減少	増加	不変	減少	上昇	横道	下落	好転	横道	悪化	好転	横道	悪化
日用品・雑貨類	22.2%	38.9%	38.9%	0.0%	83.3%	16.7%	2.8%	58.3%	36.1%	8.3%	72.2%	19.4%	5.6%	72.2%	22.2%	19.4%	69.4%	8.3%	2.8%	66.7%	30.6%	5.6%	69.4%	22.2%
包装容器・キャップ	18.8%	33.3%	45.8%	2.1%	87.5%	8.3%	10.4%	58.3%	29.2%	16.7%	56.3%	25.0%	18.8%	54.2%	25.0%	20.8%	70.8%	6.3%	12.5%	56.3%	29.2%	8.3%	56.3%	29.2%
電気・電子・通信部品	45.7%	28.6%	25.7%	2.9%	75.7%	21.4%	22.9%	47.1%	28.6%	41.4%	42.9%	15.7%	14.3%	55.7%	28.6%	38.6%	61.4%	0.0%	25.7%	47.1%	25.7%	18.6%	40.0%	35.7%
自動車	39.0%	41.5%	18.3%	3.7%	67.1%	28.0%	8.5%	58.5%	29.3%	36.6%	47.6%	14.6%	7.3%	68.3%	22.0%	31.7%	67.1%	0.0%	20.7%	52.4%	25.6%	9.8%	30.5%	53.7%
住宅関連	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	60.0%	40.0%	20.0%	30.0%	50.0%	20.0%	60.0%	20.0%	20.0%	60.0%	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	10.0%	50.0%	40.0%	10.0%	60.0%	30.0%
医療機器	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	100.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
その他	36.6%	31.7%	29.3%	12.2%	68.3%	19.5%	22.0%	56.1%	22.0%	17.1%	61.0%	19.5%	14.6%	56.1%	29.3%	36.6%	63.4%	0.0%	17.1%	58.5%	24.4%	24.4%	56.1%	19.5%

人数別	増加	横道	減少	上昇	不変	下落	好転	横道	悪化	増加	横道	減少	増加	不変	減少	上昇	横道	下落	好転	横道	悪化	好転	横道	悪化
20人未満	30.2%	36.5%	33.3%	3.2%	82.5%	14.3%	14.3%	54.0%	30.2%	25.4%	55.6%	17.5%	12.7%	66.7%	20.6%	31.7%	65.1%	3.2%	11.1%	58.7%	30.2%	12.7%	52.4%	31.7%
21～50人	38.5%	32.3%	28.1%	2.1%	72.9%	25.0%	18.8%	52.1%	28.1%	28.1%	56.3%	15.6%	11.5%	61.5%	25.0%	29.2%	65.6%	4.2%	22.9%	53.1%	22.9%	19.8%	44.8%	31.3%
51～100人	45.1%	17.6%	37.3%	5.9%	74.5%	19.6%	11.8%	52.9%	35.3%	33.3%	43.1%	23.5%	13.7%	52.9%	33.3%	35.3%	62.7%	2.0%	17.6%	43.1%	39.2%	11.8%	43.1%	43.1%
101～300人	30.2%	45.3%	22.6%	7.5%	67.9%	22.6%	7.5%	62.3%	26.4%	22.6%	52.8%	22.6%	13.2%	62.3%	22.6%	37.7%	60.4%	0.0%	15.1%	58.5%	24.5%	11.3%	41.5%	41.5%
301人以上	27.3%	45.5%	22.7%	0.0%	72.7%	22.7%	13.6%	63.6%	13.6%	31.8%	54.5%	9.1%	13.6%	59.1%	22.7%	18.2%	72.7%	4.5%	18.2%	63.6%	13.6%	0.0%	59.1%	31.8%

各分類ごとの業況判断(平成22年7～9月期 前年比)

数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております
 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

団体別	生産高・売上高			製品単価			採算			所定外労働時間			製品在庫			材料調達単価			総合判断			来期の見通し		
	増加	横道	減少	上昇	不変	下落	好転	横道	悪化	増加	横道	減少	増加	不変	減少	上昇	横道	下落	好転	横道	悪化	好転	横道	悪化
東日本	44.8%	20.7%	34.5%	3.4%	63.2%	33.3%	20.7%	47.1%	32.2%	36.8%	43.7%	19.5%	20.7%	54.0%	24.1%	47.1%	51.7%	1.1%	23.0%	37.9%	39.1%	14.9%	48.3%	36.8%
神奈川県	45.5%	31.8%	13.6%	9.1%	31.8%	40.9%	27.3%	50.0%	9.1%	36.4%	36.4%	13.6%	9.1%	54.5%	18.2%	40.9%	45.5%	0.0%	31.8%	40.9%	9.1%	13.6%	59.1%	4.5%
中部日本	44.7%	31.9%	23.4%	10.6%	55.3%	34.0%	27.7%	48.9%	23.4%	25.5%	57.4%	17.0%	17.0%	59.6%	23.4%	48.9%	51.1%	0.0%	29.8%	42.6%	27.7%	12.8%	44.7%	42.6%
西日本	42.6%	27.9%	28.7%	5.1%	60.3%	33.8%	29.4%	36.8%	33.1%	37.5%	43.4%	17.6%	27.9%	52.2%	19.9%	43.4%	48.5%	7.4%	33.8%	35.3%	30.9%	22.8%	39.0%	30.1%

製品別	増加	横道	減少	上昇	不変	下落	好転	横道	悪化	増加	横道	減少	増加	不変	減少	上昇	横道	下落	好転	横道	悪化	好転	横道	悪化
日用品・雑貨類	19.4%	33.3%	47.2%	0.0%	77.8%	22.2%	8.3%	52.8%	36.1%	8.3%	69.4%	22.2%	22.2%	58.3%	19.4%	30.6%	61.1%	5.6%	16.7%	44.4%	38.9%	13.9%	44.4%	36.1%
包装容器・キャップ	18.8%	31.3%	47.9%	8.3%	62.5%	25.0%	14.6%	45.8%	37.5%	16.7%	52.1%	29.2%	20.8%	54.2%	22.9%	37.5%	52.1%	8.3%	12.5%	43.8%	41.7%	10.4%	43.8%	39.6%
電気・電子・通信部品	57.1%	22.9%	20.0%	4.3%	54.3%	40.0%	32.9%	42.9%	24.3%	51.4%	32.9%	15.7%	30.0%	45.7%	22.9%	50.0%	50.0%	0.0%	42.9%	30.0%	25.7%	25.7%	41.4%	27.1%
自動車	56.1%	24.4%	17.1%	4.9%	47.6%	45.1%	32.9%	36.6%	28.0%	46.3%	36.6%	13.4%	18.3%	61.0%	17.1%	52.4%	43.9%	1.2%	39.0%	31.7%	26.8%	14.6%	41.5%	39.0%
住宅関連	60.0%	10.0%	30.0%	20.0%	40.0%	40.0%	30.0%	40.0%	30.0%	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	50.0%	30.0%	40.0%	50.0%	10.0%	30.0%	40.0%	30.0%	30.0%	40.0%	30.0%
医療機器	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	100.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	75.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
その他	46.3%	26.8%	26.8%	9.8%	63.4%	26.8%	31.7%	41.5%	26.8%	31.7%	51.2%	14.6%	22.0%	51.2%	26.8%	46.3%	48.8%	4.9%	22.0%	46.3%	31.7%	19.5%	53.7%	19.5%

人数別	増加	横道	減少	上昇	不変	下落	好転	横道	悪化	増加	横道	減少	増加	不変	減少	上昇	横道	下落	好転	横道	悪化	好転	横道	悪化
20人未満	30.2%	30.2%	39.7%	6.3%	69.8%	22.2%	20.6%	50.8%	25.4%	23.8%	49.2%	22.2%	19.0%	57.1%	22.2%	44.4%	50.8%	3.2%	17.5%	44.4%	36.5%	20.6%	46.0%	28.6%
21～50人	50.0%	22.9%	26.0%	3.1%	62.5%	33.3%	28.1%	39.6%	31.3%	33.3%	51.0%	14.6%	17.7%	59.4%	19.8%	40.6%	51.0%	6.3%	34.4%	34.4%	30.2%	16.7%	43.8%	33.3%
51～100人	47.1%	23.5%	29.4%	13.7%	52.9%	33.3%	31.4%	35.3%	33.3%	43.1%	39.2%	17.6%	29.4%	45.1%	25.5%	51.0%	49.0%	0.0%	37.3%	25.5%	37.3%	21.6%	39.2%	33.3%
101～300人	50.9%	26.4%	22.6%	3.8%	47.2%	49.1%	24.5%	45.3%	30.2%	45.3%	34.0%	20.8%	30.2%	45.3%	24.5%	47.2%	49.1%	3.8%	30.2%	43.4%	26.4%	17.0%	43.4%	37.7%
301人以上	40.9%	31.8%	22.7%	4.5%	40.9%	50.0%	27.3%	50.0%	18.2%	40.9%	36.4%	18.2%	27.3%	54.5%	13.6%	50.0%	40.9%	4.5%	27.3%	40.9%	22.7%	13.6%	50.0%	27.3%

全体および製品別分類ごとの経営上の問題点(平成22年7～9月期)

数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております

傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

経営上の問題点	受注不振	売上不振	輸出不振	製品・請負単価安	取引条件悪化	過当競争	輸入品との競合	流通経費増大	原材料高	借入負担増	貸し渋り	人件費高	技能者不足	技術力不足	マーケティング力不足	設備過剰	法的規制	為替問題	環境問題	人材育成	研究開発	事業継承	
製品別																							
日用品・雑貨類	50.0%	72.2%	5.6%	27.8%	8.3%	33.3%	33.3%	11.1%	22.2%	8.3%	0.0%	8.3%	5.6%	5.6%	11.1%	0.0%	2.8%	11.1%	2.8%	19.4%	5.6%	2.8%	
包装容器・キャップ	47.9%	43.8%	2.1%	33.3%	2.1%	16.7%	10.4%	2.1%	22.9%	10.4%	6.3%	14.6%	25.0%	12.5%	12.5%	6.3%	0.0%	4.2%	6.3%	31.3%	8.3%	10.4%	
電気・電子・通信部品	50.0%	27.1%	2.9%	50.0%	4.3%	17.1%	7.1%	8.6%	25.7%	10.0%	5.7%	12.9%	24.3%	21.4%	7.1%	8.6%	1.4%	17.1%	1.4%	31.4%	4.3%	1.4%	
自動車	40.2%	31.7%	6.1%	51.2%	8.5%	14.6%	4.9%	8.5%	31.7%	8.5%	2.4%	15.9%	23.2%	9.8%	0.0%	4.9%	0.0%	9.8%	6.1%	32.9%	6.1%	6.1%	
住宅関連	40.0%	50.0%	10.0%	80.0%	0.0%	10.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	20.0%	0.0%	10.0%	
医療機器	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	
その他	43.9%	36.6%	2.4%	34.1%	2.4%	19.5%	4.9%	0.0%	36.6%	4.9%	2.4%	9.8%	17.1%	17.1%	12.2%	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%	4.9%	7.3%	2.4%	
人数別																							
20人未満	49.2%	38.1%	7.9%	42.9%	3.2%	14.3%	4.8%	3.2%	33.3%	4.8%	4.8%	7.9%	17.5%	12.7%	4.8%	4.8%	1.6%	6.3%	1.6%	17.5%	1.6%	7.9%	
21～50人	47.9%	44.8%	4.2%	39.6%	6.3%	15.6%	11.5%	4.2%	24.0%	12.5%	6.3%	15.6%	17.7%	10.4%	9.4%	2.1%	0.0%	8.3%	1.0%	26.0%	6.3%	5.2%	
51～100人	51.0%	41.2%	0.0%	49.0%	3.9%	23.5%	13.7%	15.7%	41.2%	13.7%	2.0%	11.8%	29.4%	19.6%	9.8%	7.8%	0.0%	9.8%	5.9%	29.4%	3.9%	3.9%	
101～300人	32.1%	24.5%	3.8%	43.4%	5.7%	28.3%	13.2%	7.5%	22.6%	7.5%	1.9%	15.1%	17.0%	17.0%	3.8%	1.9%	3.8%	20.8%	9.4%	37.7%	9.4%	3.8%	
301人以上	27.3%	36.4%	4.5%	50.0%	9.1%	9.1%	4.5%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	18.2%	31.8%	9.1%	4.5%	13.6%	0.0%	4.5%	4.5%	27.3%	18.2%	0.0%	